



My Favorite Book! **by kumi**
全身が頭悩!?

4コの状態を
この本で初めて
知りました!



そして2年しか
寿命のない
4コちゃんに、
異様な愛情が
わきました(笑)

めっちゃ面白い本です♡
タコの心身問題



Editor's Comment! **by 中川**
「概念の見直しから公共政策にまで
つなげる見事な思考プロセス」(小川 誠
二評)
に頷く。著者の目的は思考の洗練では
なく、不完全でも有望な足がかりの
提示だと思われるが、そういう意味でも
まさに「見事な思考プロセス」。
自己責任の時代



My Favorite Book! **by kumi**
もう、「独り」は寂しくない!?

読めばきっと大ファンになってしまう
でしょう。美しい文体、ニューヨークの自然、
大切な人との触れ合い、読書...と
素直で優しい語りによられました。
独り居の日記 新装版



Editor's Comment! **by 守田**
アイヒマンとホロコーストとナチスのシステム
について著者が考えに考えた上で描いた
本書は「報告」であるが、人物もテーマも
時代も超えた普遍的なテキストになった。
日映画『ハ・アレント』でソフール寝こびながら
思考に没頭するアレントの姿を思い出す。
エルサレムのアイヒマン 新版



My Favorite Book! **by 鈴木**

いつでも手の届くところにおいておき
たい本があって、この本がそれ。
写真を見るだけでなにかを感じる。
ときどき読みかえすと、
植物の動く気配が聞こえてくる。
動いている庭



Editor's Comment! **by gw**
**コロナ禍で、サードプレイスが法度い
息をつく場所のない生活、
見知らぬ人と接しない社会は
どうなるの??**
**人はそれでも、自分なりのサードプレイスを
創出す生き物に違いない。** サードプレイス



My Favorite Book! **by 河**

荒川さんの本を読んでいると気づく。
文学で描かれたすてきな場所は、名所=
限らず、人生のすべての空間は実際に行ったり
と案外たしなことのないう空間なのではない
かと。文学が、私たちの感性が時間と
豊かにすると想起させてくれる本。
文学は実学である



Editor's Comment! **by 市原**
いま閉じ込められている世界の「外」は
あるのだろうか? どこに? と嘆息は
から探しているすべての人にお勧め!
本はいつも、作り手の想像をはるかに
超える何物かになっていくのですが、なかでも
『ピダハン』は **怪物報** でした。
ピダハン